

### 3) 水路側壁の嵩上げ

水路敷きの不同沈下等により溢水するといった通水機能に支障が生じている場合、水路側壁を嵩上げすることによる対策を行うこと。

#### 【活動のねらい】

水路敷きの不同沈下等によって、溢水し、通水に支障が生じた場合、当該部分の側壁の嵩上げすることによる対策を行うことによって、水路の通水機能の維持を図ります。

(但し、水路の不同沈下が著しく、溢水に加えて、漏水や土砂の堆積等、通水に支障をきたす要因が複数ある場合、別項目の「U字フリューム等既設水路の再布設」の対策を講じる必要があります。)



水路からの部分的な溢水

#### 【活動の内容】

##### 3-1) 計画

水路に水を流して、不同沈下の範囲を目視にて点検します。その点検結果に応じた対策方法を検討します。

当該部分の側壁にコンクリートを打ち足して嵩上げします。嵩上げ高さは、当該部分の前後の水路の側壁間に水系を張るなどして、必要な通水量を確保できる高さを調べます。施設管理者や関係機関等と十分に相談し、対策方法を検討することが大切です。

##### 3-2) 実施

###### ア. 準備 (水替え等)

水の流れを止めやすい農閑期に作業を実施します。堰板を閉めるなどして、作業場所に水が流れ込まないようにします。必要に応じて、土のうを使用して水を堰き止めます。水が完全に止まらない場合は、上流側に小型のポンプを設置し、水替えを行うなどして作業場所をドライにしておく必要があります。

###### イ. 既設水路側壁の清掃

新旧コンクリートを一体化するため、嵩上げコンクリートと接触する既設水路側壁のコンクリート表面に付着した泥や藻などをワイヤーブラシなどできれいに清掃します。

###### ウ. 型枠

ベニヤ板や杉板等を加工しながら、嵩上げコンクリートの形となるように型枠を組み立

てます。

コンクリートを流し込んだときに型枠が外れないように、側壁型枠間に栈木等を打ち込むなどしてしっかりと固定します。

#### オ. コンクリート

コンクリートを型枠内に流す前に、型枠内を清掃するとともに軽く散水します。

コンクリートは型枠が外れないように慎重に流し込みます。型枠内にコンクリートが十分に充填されるように、栈木等の棒をコンクリート内に数回挿入しながら流し込みます。コンクリートを流し込んだ後は、所定の高さとなるようにコテ等を使用しながら水平に仕上げます。

コンクリートが十分に硬化してから、型枠を取り外します。



側壁嵩上げ部へのコンクリート打設

### 3-3) 確認

設置した水路に水を流して、嵩上げコンクリートと既設水路との間からの水漏れがないか、高さの不具合による溢水が無いかなどを目視にて確認します。

#### 【配慮事項】

- ・作業に当たって道路を占有するときには、事前に関係機関（所轄警察署等）へ相談し、必要な手続きなどを行います。

#### 【水路側壁の嵩上げ】

～活動例～

#### ○水路側壁の嵩上げ

##### ・対象施設

水路（幅 0.3m、延長 10m）

##### ・活動内容

水路の一部が不同沈下しているため、大雨時に水路から溢水し、隣接する農地に流れ込むことが頻発した。沈下の程度が軽く、水路接合部の破損などもみられなかったため、当該箇所の水路側壁にコンクリートを打ち足して嵩上げた。

##### ・活動時期

12月

##### ・参加者

水土里ネットの指導のもと、農業者6名